

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アスロンカケルアカデミー			
○保護者評価実施期間	R7年11月26日		～	R7年12月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	R7年12月5日		～	R7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な運動療育支援・指導 (利用者の能力や学校体育のニーズ等に合わせた運動療育を実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な運動量の確保 ・運動プログラムを通じた“見る”“聞く”“待つ”等の集団生活に必要な力の習得 ・職員の指導技術向上のための研修を実施 ・知育、体育、徳育の三位一体の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達特性や能力に応じたより専門的な支援
2	専門的な療育支援・指導 (元特別支援学校の教師が立案した支援・指導内容を実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の実態を把握し、個別支援計画を作成 ・指導前にスタッフで情報共有や役割分担を行い、指導者全員で支援・指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成して利用者の成長に合わせた指導・支援を行う ・指導内容を共有して、多くのスタッフが質の高い支援ができるようにする
3	療育クラスの種類の充実、弊社近隣施設との連携 (個別・小集団療育（1～5名程度）と集団療育（10名）を併設)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や保護者のニーズに応じたクラスへの案内 ・集団規模に応じた支援目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・より療育の効果を高めるための職員の技術、能力の向上

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内に階段があり、安全管理を心掛けているが事故のリスクがある	施設の構造上、階段がやや急で広さも十分でない為	児童の利用時には職員が列の前、中、後ろに入って安全管理を行い、必要に応じて声掛けを行っている
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年12月19日									
		利用児童数 42					回収数 22				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・運動と知育のスペースが分けられ、広くスペースが確保されていると思う。	・引き続き継続して参ります。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%		・引き続き適正な人数で継続して支援を行います。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・運動スペース、徳育知育スペースは分かれており、どちらも十分なスペースが確保されている。 ・活動に応じて部屋が使い分けられていて、切り替えがしやすい環境になっていると感じます。 ・区分けがしっかりされて、子供にもわかりやすいと思います。	・引き続き利用者が活動しやすいように配慮して参ります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・明るく清潔です。 ・きれいである。 ・いつ訪れても整頓され、清潔感を感じます。 ・とても整理されていて、過ごしやすい環境だと思います。	・清潔な環境を維持するために日々の清掃・消毒を継続して行います。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	・一人一人の特性に合わせて支援している感じはなく、みんなと同じ内容の支援をしているように感じた。できる人、できない人関係なく、同じ事をさせているので、できない子はついて行くのが大変だと思う。 ・面談で子供の苦手な部分を聞いて頂き、それに沿った支援を受けられている。 ・個々の特性に合わせた声かけができている ・メインのコーチ3人は子どもの特性に応じた対応をされているし、子どもも親も信頼している。ただ、時々入られるコーチは、どこまで療育の知識を持っていらっしゃるかなとも思う。	・引き続き研修等を行い、職員全体の専門知識の向上を図る。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・運動をメインにしたプログラムになっている ・アプリでも、送迎の時のお話でも、その日の活動内容が分かり、支援者がよく見てくれていることが伝わってきます。	・引き続き継続して参ります。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%	・紙面で計画書を提示してくれ、共通理解をもつことができていると思います。	・引き続き継続して参ります。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	81.8%	13.6%	0.0%	4.5%		・引き続き継続して参ります。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%		・引き続き継続して参ります。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・月ごとに変化、季節感がある ・活動内容は2、3週間ペースで、変わるが、毎回、おもしろいもので、偏らず、コーチ方のアイディア、工夫を感じる。本当にありがたく思う。 ・季節や時期によって、様々な経験をさせていただいていると感じています。 ・季節に合わせたプログラムを実施してくれています。	・引き続き継続して参ります。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	72.7%	9.1%	4.5%	13.6%	・いつもイベント等、企画運営いただきありがとうございます。	・今後利用者の希望に沿って検討致します。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・引き続き継続して参ります。			

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%		・引き続き継続して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・保護者向けのイベントに、仕事の都合でこれまで参加できていないが、参加してみたいと思っています。	・引き続き継続して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・送迎の際に細かく伝えてくれている。	・引き続き継続して参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・引き続き継続して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	86.4%	9.1%	0.0%	4.5%	・とても優しく子どもも安心している ・子どもに合わせた声のかけ方をされている。運動嫌いな子どもも嫌がらず通えているのはコーチ方のおかげです。	・引き続き継続して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・親が参加する茶話会に参加させていただきました。	・引き続き継続して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81.8%	4.5%	0.0%	13.6%		・引き続き継続して迅速に対応して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	・いつも気さくに話ができるようになっていて、ありがたいです。	・引き続き継続して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・引き続き継続して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		・引き続き取り扱いには十分注意して対応致します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%		・職員向けに定期的に研修を行っていることを保護者にも周知・説明を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	86.4%	0.0%	0.0%	13.6%	・説明はありましたがまだ訓練は未経験です。 ・定期的に避難訓練等も実施されていて、安心です。 ・通いだしてから日が浅いため。	・避難訓練や防災学習を定期的に行っているので継続していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%		・職員間での安全管理の徹底を継続して実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	72.7%	0.0%	0.0%	27.3%	・まだ事故やケガが起こっていない。 ・これまでの利用で事故等がなかったもので、経験がないですが、もし事故等の発生時にはすみやかに対応いただけると、日頃のやり取りから感じております。	・事故発生時の対応確認を定期的に行い、常に迅速な対応を心がける。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・学校の体育はあまり参加できていないが、こちらには嫌がらず通えているし、走りたいとか希望まで言っていた。 ・帰宅後は今日あったことや友達とのやりとりなどを楽しそうに説明してくれまするので、安心できる環境であると感じています。	・引き続き安心して通える場を提供できるように心がける。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	・プログラムが固定化していないので楽しみにできている。	・引き続き成長や成功体験などから楽しみを見つけられるように支援していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	・理学療法士や言語聴覚士の来所日があるとより支援につながると思います。 ・プログラムが固定化していないので、色々な運動が出来るようになり、楽しく通っています。 ・とても満足しています。 ・大変満足しています。ありがとうございます。 ・日頃から丁寧に対応いただいてとても感謝しています。また様々な取り組みをさせていただいて、その中で子供の成長を促し、見守ってくださっていると感じています。ありがとうございます。	・引き続き支援を通して安心して通える場の提供を心がける。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アスロンカケルアカデミー		2025 年 12 月 19 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%		整理整頓を心掛け、スペースを最大限使用できるように心掛けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	66.6%	33.3%		活動内容や児童の特性も考慮して人員を調整する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%		荷物置き場や運動スペースには番号やテープなどで視覚支援を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%		日々の清掃・消毒を心掛けており、チェック体制も整っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%		着替え兼クールダウン用として個別の部屋を設置している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%		毎月の事業所会議や日々のフィードバックで業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		評価表のアンケート結果をふまえて業務改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		毎月の事業所会議や日々のフィードバックで意見を出し合い業務改善に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100.0%	同法人の療育事業部全員が参加する会議やイベントなどで事業所間の交流を行い、その評価結果を業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%		月一回療育事業部において研修が実施されている。外部研修にも可能な限り参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%		作成済で公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%		アセスメントを職員間で確認、共有し合い、適切に作成できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%		更新のタイミングで確認と共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%		更新のタイミングで確認と共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%		日々の行動観察からフィードバックを行って確認を実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%		目標については面談時に保護者と協議し、同意の署名をいただいている。	地域連携の機会を増やしたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%		毎月の事業所会議で意見を出し合い、活動予定表を作成している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%		季節に沿った活動を心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%		希望に応じて小集団・グループの希望クラスに入っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%		始業前MTで情報共有や注意事項の確認を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%		日々フィードバックを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%		日々の支援記録と同時に、事業所内でも記録を残し、次の支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%		活動の中で選択肢を作る場面を作ったり、指導員から意思決定のための声かけを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%		管理者や児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%		協力医療機関がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	66.6%	33.3%	引き渡し時に当日の様子の共有は行っている。	保護者を通しての連絡が多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%		同法人の児童発達支援からの引き継ぎは実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%		支援会議が行われた場合は、情報共有ができる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%		送迎などに影響が出ない時間であれば、参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100.0%		必要に応じて検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%		送迎などに影響が出ない時間であれば、参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%		日ごろから送迎の際や連絡ツールを使用して情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.6%	33.3%	家族が参加できる情報提供・共有の場を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%		契約時に細やかに説明を行っている。	職員全員が同じ内容を説明できるように徹底していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100.0%		保護者との交流イベントを開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%		対応フローがある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	66.6%	33.3%	活動予定や空き案内を定期的に掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%		イベント等で写真撮影を行う際は、同意を得ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%		利用者に応じた伝え方を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	66.6%	33.3%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%		職員には研修を実施し、保護者には緊急時の対応の書面を配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%		定期的に研修を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%		日々の始業MTで実施している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%		日々の始業MTで実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%		定期的に研修を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%			書面での配布などもしているが、見ていない保護者も多にいる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%		事案があれば情報共有と再発防止案を職員内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%		定期的に研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%		定期的に研修を実施している。	